



甲辰(きのえ・たつ)

弥富市教育委員会 教育長 高山 典彦

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。また、旧年中は本市の教育行政に深いご理解と多大なご支援を賜り誠にありがとうございました。

予測不能な時代を象徴するコロナ感染症で、私たちはさまざまな制限や制約を強いられた3年間を過ごし、多くのものを失いました。しかし一方で、それまで当たり前だと思っていた家族での外出や友達とのおしゃべり、同じ趣味の仲間との活動が、実はとても大切に素敵な時間だということを知ることができました。人は多くの人と関わることで、多様な価値観に触れ、さまざまな気付きがあります。そして、自分が唯一無二のかけがえない大切な存在だということを知ります。

学校教育では、市内のどの学校の子どもたちも多くの人と関われる教育環境を整えるために、昨年、「弥富市小中学校未来構想」を策定し、

○令和7年4月に十四山中学校を弥富中学校に編入する

○令和10年4月に大藤小学校・栄南小学校・十四山東部小学校・十四山西部小学校を再編し、新たな学校をつくること

としました。その後、説明会などで保護者や地元の方々にご理解をいただきました。

方々からいただいたご意見を踏まえ、再編校の設置場所を現在の十四山西部小学校とする「小学校再編整備方針」を定めました。今年はその実現に向けて、一歩ずつ進んでいく年となります。

生涯学習においても、これまでの「市民体育大会」を一新し、「YATOMI スポーツフェスティバル」としての一步を踏み出しました。さまざまな年代が体力や健康を測定したり、いろいろなスポーツを体験したりして、人とのつながりを感じ、自分自身の健康を喜ぶよい機会になりました。

今年は今和6年。古くから用いられている言い方では「甲辰(きのえ・たつ)」にあたります。「甲(きのえ)」はまっすぐに堂々とそそり立つ大木を表し、「辰(たつ)」は大自然の躍動を象徴するそうです。

多くの人と関わり合う一つ一つの積み重ねが、天に届くような大木となつて実を結ぶ年となります。すことを願うとともに、それに向けて躍動することを年の初めに皆様にお誓い申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和6年元旦



謹賀新年

弥富市議会議長 平野 広行

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、輝かしい新春を迎え、健やかに過ごされることと心よりお喜び申し上げます。また、日頃より市議会に對しましては、温かいご支援、ご協力を賜り、議員一同、厚く御礼申し上げます。

さて、本市を取り巻く状況は、人口減少、少子高齢化社会・核家族化の進行など、さまざまな地域課題に直面し、今まさに、まちづくりのあり方が大きく問われており、さらに地方分権の進展に伴い、市議会の果たすべき役割・責務が今まで以上に求められています。

市議会としましては、市政を取り巻く環境の変化を的確にとらえながら不断の研鑽と努力を重ね、議員一人一人がその責任を自覚して市民目線に徹し、さらなる市民の信頼と負託に応える議会を目指して、全力で取り組んでいく決意でございます。

一方、市議会では、議会改革の取組の一つとして、DXを推進するため、議会内にICT準備部会を立ち上げました。DXへの第一歩として、タブレット端末を活用し、議会資料のペーパーレス化、情報共有の迅速化などを図るため、調査・研究を重ね具体的な運用に向け、日々準備

を進めているところでございます。

市議会は、本年3月に新たな体制となり、今までの以上に議会活動を積極的に展開していくことが求められます。市議会としましては、今後も引き続き、弥富市議会基本条例に基づき、「市民に開かれた議会」の実現を目指して、本会議、常任委員会などのインターネット配信やSNSの活用による議会情報の発信などを展開してまいります。

結びに、市民の皆様にとりまして、本年が明るく希望に満ちた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和6年元旦

